

人生の先輩から…

～100年健康・シニア活躍～



あきもと よしまろ
秋元 嘉磨さん
(下戸田 83歳)

レールは続いていく

喜沢に生まれ育ち、高度経済成長期のさなか、秋元さんは精肉店を営んでいました。当時、お店の周りには約50の小売店が立ち並び、通りが歩行者天国になるほどお客さんがいっぱい、にぎわいのある商店街だったそうです。店じまいをしてから精力的に活動しているのは、自ら立ち上げた「喜沢2丁目吹き矢愛好会」。コストカットのため、道具を手づくりするところから始まったそうです。チラシと竹串でつくられた矢に、段ボール製の的。「いろいろつくって、自分たちで試行錯誤するから楽しい」とこだわりを語ってくれました。また、日々を楽しく元気に過ごしているのは「ご先祖さまが生活の基盤をつくってくれたおかげ」と感謝の気持ちを語っていた秋元さん。一から物事をつくりあげることの難しさを知っている秋元さんならではの言葉です。「吹き矢愛好会もこの先長く続いていったら嬉しい」と話す表情は温かく、熱いまなざしが印象的でした。



こどもアート館



おくだ えりな
奥田 絵理奈さん
(美女木小学校 6年)

作品名

「雨宿りのゴール」

家に着いた達成感が伝わるように描きました。絵の具や色えんぴつ以外に、ラップやめん棒、水風せんを使って、虹をイメージして色を塗っています。猫の影は、オーロラみたいな色味にしました。ドアにかかったリースには白いところを残して、ツヤを表現しています。



(広告)



積水ハウスグループの
[サービス付き高齢者向け賃貸住宅]

グランドマスト 戸田公園

“今”をもっと快適に。“これから”をより安心に

「戸田公園」駅
徒歩4分の
便利な立地



個別見学受付中

お問い合わせは
積水ハウス不動産東京株式会社
グランドマスト事業部

0120-815-823 営業時間 9:00~18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

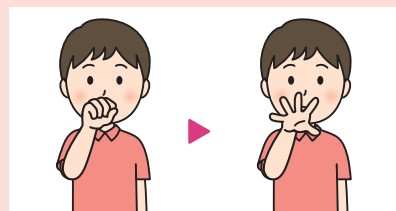
手話でコミュニケーション

第34回

今月は、「言う」「聞く」についての手話を紹介します。

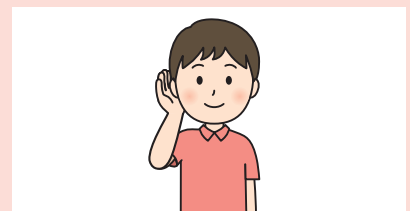
問い合わせ 障害福祉課(内線 297)

① 言う



握った右手を前に向け、口元から開きながら前へ出す。

② 聞く



手のひらを耳に添える。